

2007 年後期

通信教育講座

講座コード C0701

分析機器のデータ処理

講座の概要

この講座の受講者は機器分析をしている、これから始める人を対象とする実務者を想定しています。検査分析士初級試験の合格者は、上級を目指すための自己研修にも活用できます。講座は3単元から構成され3ヶ月で完結します。1単元毎に演習問題を解くことにより、理解を確実なものに出来ます。

受講料 15,750 円

実施スケジュール

講習テキストの配布予定 2月15日、3月15日、4月15日

添削3回

申し込み方法 <http://www.pai-net.or.jp>から、又はFAX (03-5294-3344) でお申し込みください。

受講料 15,750 円 はお申し込み後、下記へお振り込みください。

振込先：三井住友銀行神田支店 (219) 2116823 (普通) 分析産業人ネット宛

または：郵便振替口座 00170-9-334624 PAI-NET 宛て

振込み確認をもって受付とさせていただきます、E-mail で受講票をお送り致します。振込み手数料はご負担ください。

なお、領収書は銀行振り込み票をもって代えさせていただきますのでご了承ください。

2007 年下期分析産業人ネット通信講座受講申込書
FAX : 03-5294-3344 または<http://www.pai-net.or.jp>より

受講講座名	分析機器のデータ処理		
ふりがな 氏名			
勤務先 所属			
e-mail (必須)			
テキスト 送付先住所	〒		
電話		FAX	
入金予定日	年 月 日	請求書の有無	必要 不必要

講師 新川 隆郎

講座内容

はじめに

第1単元(2月) 序章～2章

序章 波形処理の全体像

1章:分析機器と測定データ

1.1 分析機器について

1.2 測定データの精度

2章:データの統計処理、検定

2.1 平均値と標準偏差

2.2 検定

第1単元の例題

第2単元(3月) 3～4章

3章:検量線

3.1 検量線の基本

3.2 最小2乗法の計算

3.3 絶対検量線法

3.4 内部標準法

3.5 標準添加法

4章:分光計測の原理

4.1 吸光光度分析法

4.2 吸光分光光度計のしくみ

第2単元の例題

第3単元(4月) 5～6章

5章:データのA/D変換

5.1 分析機器のデータ収集系システムの例

5.2 データ収集とA/D変換

5.3 量子化誤差

6章:スペクトルのサンプリング

6.1 ナイキストのサンプリング定理

6.2 データのサンプリングとノイズ

6.3 スペクトルとクロマトグラム

6.4 いろいろなスペクトルとクロマトグラム

第3単元の例題

付録